

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	在宅当番医制事業	会計	一般会計	事業No.	262	施策順No.	32-003
		事業種別	政策・その他	予算科目	4-1-1-14-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	保健課		
施策	32 医療の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郡市民</li> <li>・委託料支出先: 飯伊地区包括医療協議会 飯伊の医療機関</li> </ul>						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標) 飯田市及び下伊那郡の住民(人口) 飯伊の医療機関数(歯科除く)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	突然の怪我や病気に対応できる医療機関を、当番制にて確保する						
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標) 年間在宅当番の延べ日数 (歯科・調剤除く)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	
								A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		休日、祝祭日における救急医療(一次医療)を実施し、目標を達成している。 委託料支払の日数は、輪番と重なる医療機関があった場合はカウントしないため、年間予定日数よりも減っている。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日、祝祭日における救急医療体制(第1次医療)として、在宅医療機関を当番制にし、郡市民の救急対応をしている。</li> <li>・地区を飯田地区と阿南地区に分割して実施。</li> <li>・社団法人飯田医師会への委託事業</li> <li>・休日夜間の眼科救急当番に係る待機料負担金</li> </ul>		
22年度事業内容	事業内容	名称	活動量・単位
	1 在宅当番医制事業の委託 15,000円/日 2 在宅当番医制歯科・調剤負担金 10,000円/日 3 休日夜間の眼科救急当番に係る待機料負担金	1 在宅当番のべ日数 2 歯科調剤のべ日数	1 378日 2 509日
23年度実施計画	1 在宅当番医制事業の委託 15,000円/日 2 在宅当番医制歯科調剤負担金 10,000円/日 3 休日夜間の眼科救急当番に係る待機料負担金	1 在宅当番のべ日数 2 歯科調剤のべ日数	1 378日 2 510日

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		その他	2,783	2,679	4,574	
	一般財源	12,889	12,588	12,832		
	計 (A)	15,672	15,267	17,406	(そ) 諸収入(飯伊地区包括医療協議会、町村負担金)	
	正規職員所要時間		100			
	臨時職員等所要時間		48			
	人件費計 (B)		409			
	トータルコスト A+B		15,676			

4 事業に対する市民や議会の意見

小児救急について、専門医師の数不足が問題化している。
----------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	医療が必要な人が必要な医療を受けられる。	施策の成果指標又はムトス指標	かかりつけ医を持つ市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	休日・祝祭日において、緊急の時の医療機関が開設していることで、必要な医療が受けられ、安心した生活ができる。		
	後期に向けた課題	引き続き、休日・祝祭日における救急医療(一次医療)での領域を充実させるために、必要な医療が受けられる為の体制整備が必要である。		必要な医療が受けられていると感じる市民の割合
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	ケーブルテレビデータ放送の情報として、平成22年度から休日当番医情報へ掲載を行う。 指定管理者である飯伊地区包括医療協議会が作成した、医療ガイド(お医者さんの上手なかかり方)を全戸配布		
	後期に向けた課題	コンビニ受診化にはならないようにしながら、休日・祝祭日における救急(一次)医療体制として、必要な医療を受けられる場所及び時間の周知を行う。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	医師の待機料については、15年度県基準を下回っている。これ以上待機料の減額は出来ない状況にある。		
	後期に向けた課題	当番医師の待機料等を据え置いて、現体制を続けていけるかが課題。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	利用者は郡市民である。飯田市と町村との利用者数に基づく率により、郡内町村から負担金を徴収している。		
	後期に向けた課題	引き続き、飯田市と町村との利用者数に基づく率により、郡内町村から負担金を徴収する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	① 飯伊地区包括医療協議会 - 医師の当番を調整する。 医師会、歯科医師会、薬剤師会 - 医師の当番を担当する。 ② 包括医療協議会及び三師会との調整		
	後期に向けた課題	今後も、休日・祝祭日の救急医療(一次医療)に対応する体制整備が必要である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	飯伊地区包括医療協議会及び三師会を中心とした体制により、休日・祝祭日における救急医療(一次医療)の領域を確保してきた。		
	後期に向けた課題	今後も現在の体制を維持していくために、必要な調整を行う。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--